

アーカイヴズ・記憶と現代を架橋する －飯山由貴作品に見る、いくつもの語りの模索－

2024年1月20日（土）14:30～（14時開場／18時すぎ終了予定）
会場：広島大学東千田キャンパス 未来創生センターM303講義室



《戦争画の部屋》2015-2016 HD 23分32秒



《In-Mates オンライン編集版》2021 4K 26分50秒 写真：金川晋吾

当プロジェクトでは、「歴史のアーカイヴズを現代にひらく」をテーマとし、戦争を経験していない世代による記憶の継承について、特に現代の視覚表象分野のアーティストたちによる実践に注目して検討しています。今回の企画では、飯山由貴さんによる作品の上映会を行います。飯山さんは、人々の言葉や歴史資料を紐解き、定型化された歴史や制度から捨象される個人の経験や記憶に向き合う作品制作で知られるアーティストです。上映会では近年発表された作品を鑑賞し、その内容や制作経緯等について飯山さんから直接お話を伺います。加えて、歴史学や人類学、文化やメディアの研究者たちを交えたディスカッションを行うことで、実際に経験したものではない他者の記憶を軸に過去と現在とを接続する可能性、そこでのアーカイヴズの役割、アートと学術研究の関係や連携の可能性、そこでの課題などについて、領域横断的に考え議論してゆきたいと思います。

14:30 趣旨説明

14:45 作品上映

《戦争画の部屋》（2015-2016、23分32秒）

《In-Mates》（2021、26分50秒）

15:45 アーティスト・トーク

－休憩－

17:00ごろ ディスカッション

飯山 由貴（アーティスト）

中尾 麻伊香（科学史、表象文化論）

中村 江里（日本近現代史、精神医療史）

中村 平（人類学、ポストコロニアル）

匹田 篤（メディア論、情報教育）

水羽 信男（東アジア近現代史、広島大学文書館館長）

（以上、五十音順・敬称略）

司会：内山 尚子（近現代美術史）

当企画は対面のみ開催で、事前申し込み制（定員あり）です。以下のURLまたは右のQRコードより詳細をご確認ください。お問い合わせもリンク先のフォームをご利用ください。

（学内者用） <https://forms.office.com/r/rm3prGrKkx>

（学外者用） <https://forms.office.com/r/2HyW0E9eEM>



（学内者用）



（学外者用）